**2022年９月30日**

**全国商工会連合会**

小規模企業景気動向調査　［２０２２年８月期調査］

～業種で異なる需要格差、慢性的なコスト増による採算悪化に苦しむ小規模企業景況～

**小規模企業景気動向調査**　［２０２２年７月期調査］

**～****感染急拡大による需要低迷、コスト増の影響による採算・資金繰りに苦しむ小規模企業景況～**

**＜産業全体＞　業種で異なる需要格差、慢性的なコスト増による採算悪化に苦しむ小規模企業景況**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| D I | ７月 | ８月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 10.0 | ▲ 11.0 | ▲ 1.0 |
| 採算 | ▲ 51.4 | ▲ 47.9 | 3.5 |
| 資金繰り | ▲ 40.0 | ▲ 37.1 | 2.9 |
| 業況 | ▲ 38.5 | ▲ 34.6 | 3.9 |

**８月期の産業全体の業況は、コロナ第７波の急拡大により売上額DIが２期連続で小幅に悪化、採算・資金繰り・業況DIが小幅な改善となった。一方で、業種によって売上額DIの改善と悪化がみられ、格差が生じている。原材料の仕入れごとに価格が変動し、受注の都度、売上原価の再計算を行う事務作業の時間が増加、とのコメントも目立ち、少しずつ間接部門にも原材料価格高騰の影響が出始めている。一段と進行する円安等による原油・原材料の高騰で、産業全体の採算は低水準で推移し、厳しい経営環境・経営状況が続いている。**

**＜製造業＞　一部で価格転嫁が進み好調であるも、慢性的な採算悪化に苦しむ製造業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| D I | ７月 | ８月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 5.6 | ▲ 8.2 | ▲ 2.6 |
| 採算 | ▲ 54.8 | ▲ 55.4 | ▲0.6 |
| 資金繰り | ▲ 40.6 | ▲ 43.2 | ▲2.6 |
| 業況 | ▲ 40.8 | ▲ 40.7 | 0.1 |

製造業は、売上額・資金繰りDIが小幅に悪化、採算DIがわずかに悪化、業況DIがわずかに改善となった。食料品関連は、原材料高騰により採算DIが低水準で推移しているが、行動制限のない盆休みで稼働率が上がった、とのコメントがあった。繊維関連は、円安による輸入原材料高騰の影響が大きく、採算DIが直近1年間で、最大の悪化幅を示した。機械・金属関連は、３期連続で採算DIが改善。価格転嫁が進んでいる、とのコメントがあった。

**＜建設業＞　災害関連等の需要増による業況改善に転じるが、先行き不透明感の残る建設業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| D I | ７月 | ８月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 10.2 | ▲ 8.2 | 2.0 |
| 採算 | ▲ 60.2 | ▲ 56.4 | 3.8 |
| 資金繰り | ▲ 48.6 | ▲ 43.1 | 5.5 |
| 業況 | ▲ 42.1 | ▲ 35.6 | 6.5 |

建設業は、売上額・採算DIが小幅に改善、資金繰り・業況DIが大幅な改善に転じた。先月に引き続き、堅調な官公需や民間工事の受注に加え、８月に発生した大雨による災害復旧需要の増加が顕著に見られた。一方で、価格転嫁対策が追い付かないことによる採算悪化、人手不足による納期遅れが発生するなど、引き続き深刻な状況。材料が高騰し続け正確な見積もができない、売上は増えるが利益が増えないとのコメントが目立った。

**＜小売業＞　商品の値上げ、感染症の急拡大等による、売上の悪化に苦しむ小売業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| D I | ７月 | ８月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 12.0 | ▲ 19.7 | ▲7.7 |
| 採算 | ▲ 50.3 | ▲ 49.9 | 0.4 |
| 資金繰り | ▲ 40.0 | ▲ 38.9 | 1.1 |
| 業況 | ▲ 40.6 | ▲ 42.4 | ▲1.8 |

小売業は、売上DIが大幅に悪化、採算DIがわずかに改善、資金繰りDIが小幅に改善、業況DIが小幅に悪化した。食料品関連は売上額DIが大幅に悪化。値上げによる顧客の買い控えが顕著、とのコメントがあった。衣料品関連は10ｐｔ超の大幅悪化。売上の減少する時期に、コロナによる来店客減少の影響が重なった。耐久消費財関連は、エアコン特需が落ち着き、売上DIが大幅に悪化。半導体不足による供給不足も大きく影を落とす結果となった。

**＜サービス業＞　行動制限のない盆休みで活況を取り戻すも、感染急拡大の影響に苦しむサービス業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| D I | ７月 | ８月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲12.3 | ▲ 8.1 | 4.2 |
| 採算 | ▲ 40.2 | ▲ 30.0 | 10.2 |
| 資金繰り | ▲ 30.8 | ▲ 23.0 | 7.8 |
| 業況 | ▲ 30.5 | ▲ 19.4 | 11.1 |

サービス業は、売上DIが小幅に改善、採算・資金繰り・業況DIが10pt超と大幅に改善した。旅館関連は、先月の大幅悪化から一転、全DIで10ｐｔ超の大幅改善。行動制限のない盆休みにより、活況を取り戻した結果となった。クリーニング関連は、原油高騰による採算の悪化と改善を繰り返しており、安定しない。理・美容は、全DIで改善傾向が続き、安定してきている。一方、事業者本人がコロナに感染し休業を余儀なくされる、とのコメントがあった。

**調 査 概 要**

・調査対象：全国約300商工会の経営指導員

・調査時点：2022年８月末

・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI（景気動向指数）は各調査項目について、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。

産業政策部　産業政策課　担当：元木　〒100-0006　千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F　TEL：03-6268-0085　MAIL：sangyo@shokokai.or.jp